

私たちは、患者さんの人権を尊重し、地域に必要な基幹的・中心的な医療を担当すると共に、さらに高次の医療に対応できるよう努力します。

2019 Summer Vol.058

編集：広報委員会・広報課
 印刷：有限会社 アクト

〒615-8256 京都市西京区山田平尾町17
 TEL075-391-5811(代)



katsura
<http://www.katsura.com>

兵庫県 佐用町 (撮影 堀居 恭子)



Index

2 専門医がお答えします - 第48回
 放射線診断科のご紹介

4 かつらそらまめ教室①

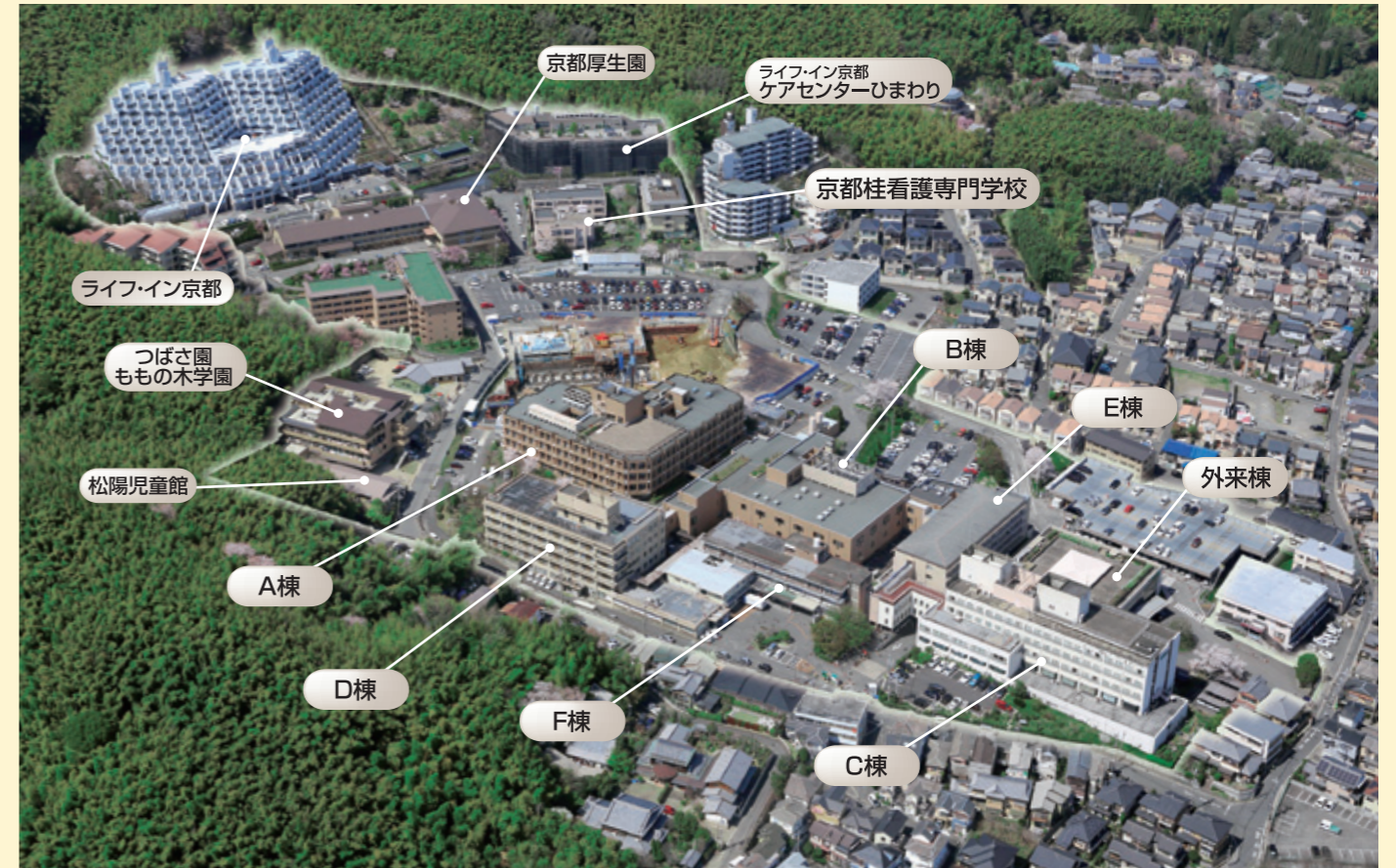
5 イオンモール京都桂川における救急医療イベント

5 『がんサロン「きずな」開設10周年記念講演会 & 読売日本交響楽団ハートフルコンサート』

6 ナースの広場
 急性期病院の退院調整における在宅看護専門看護師の役割

7 連携医ネットワーク

7 当院の医師・職員紹介



許可病床数

●585床 (一般525床：結核60床)

診療科目

- 一般内科 ●血液内科 ●糖尿病・内分泌内科
- 腎臓内科 ●膠原病・リウマチ科 ●化学療法内科
- 心臓血管センター (心臓血管内科・心臓血管外科)
- 消化器センター (消化器内科・外科) ●乳腺科
- 呼吸器センター (呼吸器内科・呼吸器外科)
- 脳卒中センター (脳神経内科・脳神経外科)
- 整形外科 ●形成外科 ●泌尿器科 ●産婦人科 ●眼科
- 耳鼻咽喉科 ●皮膚科 ●小児科 ●緩和ケア科
- 精神科 ●リハビリテーション科 ●腫瘍内科
- ペインクリニック科 ●放射線科 ●麻酔科 ●救急科
- 血液浄化センター ●健康管理センター
- 京都桂臨床医学研究所 (臨床試験センター) ●保育所

併設施設

- 京都桂看護専門学校 (全日制3年課程)
- 訪問看護ステーション「桂」

関連施設

- 西陣病院 ●にしがも透析クリニック ●にしがも舟山庵
- 京都厚生園 ●京都桂川園 ●昭和保育園
- 北野保育園 ●二条保育園 ●松陽児童館
- つばさ園 ●ももの木学園
- ライフ・イン京都



交通のご案内

- ▶市バス
 73系統 (京都駅～洛西バスターミナル)
 29系統 (四條烏丸～洛西バスターミナル)
 69系統 (二条駅西口～阪急桂駅東口)
 それぞれ「千代原口」下車、徒歩約10分
- ▶京阪京都交通バス
 21、27系統 (京都駅～桂坂中央)
 「千代原口」下車、徒歩約10分
- ▶阪急電鉄
 京都線「桂駅」下車
 (西口)西へ約1.7km
- ▶病院専用送迎バス (約15分)
 「阪急桂駅」及び「JR桂川駅」からは送迎バスを無料でご利用いただけます。
- ▶JR桂川駅送迎バスのりば
 (阪急桂駅西口の送迎バスのりばは、上記地図を参照してください。)



社会福祉法人 京都社会事業財団
京都桂病院
<http://www.katsura.com>

放射線診断科の ご紹介



放射線診断科
部長
山岡 利成

今回は、病院の裏方診療科である放射線診断科のご紹介をいたします。馴染みのない診療科の紹介なので、紙面をたっぷりいただいでご紹介する許可を得ることができました。



京都桂病院には放射線の名を冠した診療科に放射線診断科と放射線治療科が存在します。放射線科と一括されている病院もあります。放射線科の業務は多岐にわたるため、当院では、診断科と治療科に別れています。放射線治療科では、主に腫瘍を扱う診療科から依頼を受けて、高エネルギー放射線を病巣（多くは悪性腫瘍）に照射する計画を立て、治療後の経過観察をしています。放射線治療専門医が立案した治療計画に基づき、診療放射線技師が照射を実施します。

一方、放射線診断科の業務は、最近のテレビドラマ「ラジエーションハウス」にも描かれ

たため、一般の方にも認知され始めたなあと感じる機会が多くなりました。私が研修を始めた平成一桁の頃は、「放射線科で働いています」というと、「ああ、息吸って止めてと、レントゲン撮る仕事ですね」と診療放射線技師と混同されることがほとんどでした。いちいち説明するのも面倒なので「まあ、そんなもんです」と適当に返事をしていました。

放射線診断科の業務で最も多くの割合を占めているのが、その名の通り、画像診断業務です。診療放射線技師が撮影した画像（レントゲンやCT、MR）を診て、依頼元の診療科にレポートを返却しています。

これらの画像は、依頼元の各診療科の医師が診療に必要な情報を得るために撮影されています。我々、画像診断医は、依頼目的となった病変の情報を読み取るだけではなく、予期せぬ病変の存在の有無にも注意しながら報告書を作成していきます。

具体的には、循環器科で撮影された胸部レントゲン写真で肺がんと発見したり、救急外来で撮

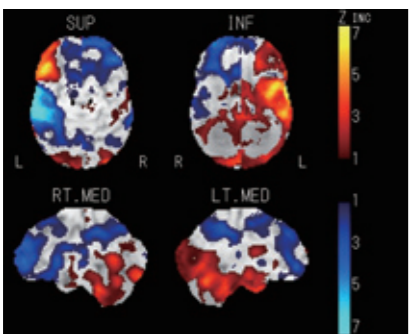
影されたCTで大腸癌を発見したり、脳外科で撮影されたMRで初期の上咽頭癌を発見したりといった具合です。時機を逃さず病気が発見されることにより、早い段階で治療を受けられる可能性がでてきます。

画像診断の対象になるのは胎児から亡くなられた方まで、全身に及ぶため、文字通り全診療科の知識が要求され、知識のUpdateには継続的な努力が必要となります。撮影を開始する前に、より情報の多い画像が撮影できるように撮影法を診療放射線技師と一緒に検討したり、彼らと協力しながら診療に適した画像が撮られているか品質管理を行ったりもしています。

次に重要な位置を占めているのがIVRと呼ばれる業務です。IVRはX線透視画像を診ながらカテーテル治療をしたり、病変組織の採取（生検）や排膿治療を目的に患部に針を刺したりする業務です。当院では、正式な診療科としての放射線科が設置されるおよそ10年前までは、各診療科が独自にIVRを行っていました。最近

でも、IVRの一部は各診療科が独自に担当しています。当院の放射線診断科では、主に咯血や外傷等による活動性出血の止血治療を担当しています。最近では、外科と協力して、術後の門脈狭窄に対するステント留置を行ったり、化学療法剤の動脈内注入用ポートを留置したり、内分泌腫瘍病内科の依頼で、ホルモン産生腫瘍の局在診断を行ったりすることもあります。病院によっては、放射線科医がRFA（ラジオ波による腫瘍の焼灼治療）や腸重積の整復治療を行なっていることもあります。外科手術に比べ、身体への負担が少ない治療であり、超高齢化社会では手術に耐えられない患者さんの治療選択肢として、ますます普及してくる可能性がある分野です。

薬剤は患者さんの全身状態により分布が変化する、いわば機能画像であり、先に述べた画像診断が形態診断であることと性格を異にしています。薬剤の分布を見ながら、どんなことが体内で起こっているかを報告書に記載し、依頼科に返していきます。SPECT検査の主な対象疾患は脳や心臓の血流状態の評価、骨転移の検索です。PETとは異なり、様々な種類の検査を実施することができます。近隣地域でSPECT装置を保有している施設が減少してきており、近隣施設から多くの依頼を受け入れています。最近では、一部の限られた悪性腫瘍に対



脳血流 SPECT

青い部分は血流の低下した部位、赤い部分は血流の増加した部位

し、 α 線や β 線を放出する薬剤を投与し、腫瘍の部分だけを体内から治療することも行っています（放射線内用療法）。放射線内用療法は、世界水準からは10年以上遅れていますので、世界に追いつけるよう充実させる方向性にあると言われています。

以上が放射線診断科の三大業務です。その他、診療放射線技師と協力して無駄な被曝がなくなるように、画像検査に関わる放射線被曝量を最適化したリ、他診療科との合同カンファレンスを通じて、患者さんにより良い医療を提供できるように情報共有をしながら、院内の交通を整理したりする業務も行っています。

放射線診断科と病理診断科は病院の質を担保する（診断レベルを維持する）ために必要不可欠な診療科です。誤った診断のもとでは適切な治療は期待出来ないからです。これらの診療科の充実度は、病院の質を判断するわかりやすい判断基準と言っても過言ではありません。放射線診断科に関しては、最低でも

100床に一人程度の診断専門医が必要とされていますが、残念なことに、多くの病院では充足されていません。当院でも御多分に洩れず充足には程遠いのが現状で、対応できる業務には限りがあります。その為、初期研修医に放射線診療の魅力を伝え、勧誘するのも重要なミッションの一つになっています。

最後に、診断業務は、最近のAIブームで、AIに取って代わられると言われることがありますが、放射線診断科は、画像を通して一人一人の患者さんに寄り添う（間接的）にはあります。一緒に悩んだり喜んだりする（診療科です。AIと診断医は例えるならば、不完全ながらも常に同じ和音しか作れない電子楽器と相手の音に対して最も美しい和音を作ることのできるバイオリンやトロンボーンといった古典楽器のような違いでしょうか。AIを使いこなす（雑務を任せる）ことで、今以上に患者さんに寄り添うことができれば、放射線診断医としてこれに勝る喜びはないと考えています。



京都桂病院では地域住民の皆様にも医療を身近に感じていただき、安全で安心して暮らせる地域づくりのお手伝いをさせていただきますと考えています。

その一つの試みとして、「地域とともにくらしの未来をつくる」を经营理念に掲げておられるイオンモール京都桂川様と共に住民の皆様を対象に参加型のイベントを昨年から開始しています。これまでの主な内容は「知っておきたい！救急医が教える急変対応」と題して実際に目の前で人が急に倒れた時の対応について当院の救急医から講義を受けた後、倒れた人の心臓が突然止まったと想定し



て当院スタッフのサポートのもと専用の人形を用いて胸骨圧迫（従来心臓マッサージといわれていた手技）やAED（自動体外式除細動器）を体験していただいています。また、同日、同じ場所で「急変対応」と交互に、6月には救急医による「熱中症対策」、11月には感染症認定看護師による「冬の感染症対策」、2月には小児科医による「喘息と花粉症対策」の参加型イベントも開催してきました。いずれのイベントにも年齢を問わずたくさんの方の地域住民の皆様に参加していただきました。アンケート結果では常に90%以上の満足度を得ており、リピーターの方も増えてきています。また、参加した当院スタッフからも、「普段の病院業務では得られない経験から地域住民の皆様との距離をさらに身近に感じ、改めて医療を担うものとしての役割の大切さに気付くことができた」といった高い満足度が得られており、継続していく事の重要性を改めて感じています。

京都桂病院はこのような救急医療イベントだけでなく地域住民の皆様が少しでも安全で安心して暮らしていけるように、様々な活動を通じて医療を提供させていただきたいと考えています。



イオンモール京都桂川における 救急医療イベント

薬剤科係長・経営企画室 野崎 歩



かつら そらまめ教室①



●3月のメニュー
「少な目のスープで減塩ラーメン」



●元気いっぱいの田村管理栄養士

腎臓内科部長 兼
血液浄化センター長 宮田 仁美



短い梅雨が終わり、本格的に夏が始まりました。昨年の6月、7月は桂川周辺でも大きく揺れた地震や集中豪雨を経験して、「備え」の重要性を実感しました。何事にも「備えあれば、憂いなし」といいたいところですね。

さて、我が腎臓内科率いるかつらそらまめ軍団は、多職種チーム結成以来5年目を迎えました。5年目にあたり、「腎臓病教室」を年1回から季節ごとに行うことにし、名前も「そらまめ教室」に改め、シリーズ化して開催することになりました。季節に合わせて腎臓を守るための生活の知恵や、普段食べにくい高い塩分含有のメ

そらまめ教室
～腎臓を守ろう～

日時：9月18日（水）11:45～13:00
場所：京都桂病院 A棟2階大ホール

テーマ「食欲の秋・運動の秋」

11:15～ 開場・受付
11:45～ 理学療法士
12:00～ 管理栄養士
12:15～ 食事会
12:30～ 医師

先着15名様までとさせていただきます

参加費 ● 昼食代460円（当日徴収させていただきます）
● 集団栄養指導料自己負担分
健康保険適用となります。
（1割負担80円、3割負担240円）

参加ご希望の方は腎臓内科外来にその旨をお伝え下さい。
申し込みの締め切りは9月11日（水）とさせていただきます。

食物アレルギーのある方、ご家族の同伴を希望される方は事前にお知らせ下さい。

今後のそらまめ教室のスケジュール（毎回11:45-13:00）

日時	テーマ
12/18（水）	「年末年始を楽しもう！」

そらまめ教室についてのお問い合わせは下記までおねがいします。
電話：075-391-5811 栄養科 池田（P-S8689） 島井（P-S8688）

次回の「そらまめ教室 ～腎臓を守ろう～」開催のご案内

ニューなどについて減塩しても美味しく食べられるような工夫をしたメニューを提供して実食体験していただきながら、楽しく学んでいただく企画を始めています。

3月に始めたこの企画、美味しさと評判になりはじめましたが、5月のメニューはなんとラーメンでした。「食べたらかかん！汁飲んだらあかん！」とダメ出しばかりの塩分制限ですが、「そらまめ

教室」では、調理法の工夫と調味料の使い方の奥義や隠れ塩の知識を管理栄養士の田村さんに教えていただきました。感想の中で好評をいただいたのは薬剤師の溝手さんのお話です。慢性腎臓病の患者さんに気を付けていただきました情報は盛りだくさんでした。詳細は次号に譲りましょう。それでは、適度な水分・塩分（適塩）でこの夏も乗り切りましょう。

がんサロン「きずな」開設10周年記念講演会

公益財団法人 正力厚生会助成事業

読売日本交響楽団ハートフルコンサート

6月20日（木）14時から、当院ホールにおいて『がんサロン「きずな」開設10周年記念講演会&読売日本交響楽団ハートフルコンサート』を開催いたしました。

第1部の講演会では、「がん患者団体、患者支援団体の活動について」NPO法人京都がん医療を考える会理事長、京都府がん患者団体連絡協議会役員の清田政孝氏より京都のがんサロンの活動についてご講演いただきました。当院がんサロン「きずな」の紹介や、ピアサポーターからは「がんサロン きずな」のアピールと参加の呼びかけを行いました。

第2部では、公益財団法人「正力厚生会」助成事業としてがん診療連携拠点病院で行われている読売日本交響楽団・弦楽四重奏による「読響ハートフルコンサート」が開催され、参加者は演奏に聴き入りました。





私たちは、真心を添えて看護します。

ナースの広場 Nurse Square

急性期病院の退院調整における在宅看護専門看護師の役割



地域医療福祉連携室 係長 堂園 けい子

「実践・相談・調整・倫理調整・教育・研究」である。

急速な高齢化と医療改革により、在院日数が短縮化され在宅医療が推進されるようになり、医療上の継続課題や日常的な生活支援ニーズを抱えて退院する患者さんも増えてきています。また、患者さんがスムーズに在宅療養へ移行できるように退院調整の必要性も高く求められています。 「患者さんが自分の病気や障害を理解し、退院後も継続が必要で必要な医療や介護を受けながらどこまで療養するか、どのような生活を送るかを自己決定するための支援」や、「患者さんや家族の意向を踏まえて環境・ヒト・モノを社会保障制度や社会資源になく支援」を担っています。具体的には、入院早期から病棟の医師や看護師、理学療法士、作業療法士、栄養士等と連携して、退院前の問題点の明確化と共有、退院

院前カンファレンスの実施、社会資源の調整等、退院後の医療上・生活上の課題を解決するために、患者さんが安心して退院できるように地域の医療機関や介護保険サービス事業所等との連携・調整を行っています。また、転院調整や外来通院中の患者さんの医療や介護相談への対応や医療上の問題に対して在宅支援者と連携し対応しています。医療・介護の提供体制が「病院完結型」から「地域完結型」へと変わる中、



医師紹介

院長 野口 雅之
副院長(消化器センター)所長兼務 寺島 裕之
副院長(呼吸器センター)所長兼務 田立 吉
副院長(精神科)所長兼務 山内 泰之
副院長(地域医療福祉連携室)所長兼務 宮 大茂
腎臓内科部長兼務 山内 泰之
血液内科部長兼務 山内 泰之
化学療法部長 山内 泰之

消化器センター外科部長 小濱 隆夫
呼吸器センター部長 小濱 隆夫
心臓血管センター部長 小濱 隆夫
心臓血管センター部長 小濱 隆夫
心臓血管センター部長 小濱 隆夫

整形外科部長 小濱 隆夫
泌尿器科部長 小濱 隆夫
産婦人科部長 小濱 隆夫
形成外科部長 小濱 隆夫
眼科部長 小濱 隆夫

事務部長 篠田 浩之
医療支援部門担当責任者 小森 俊
看護部門担当責任者 谷口 文子
地域医療福祉連携室 有山 真智子
医療安全管理室 有山 真智子
研修医紹介 東山 悠介

連携医療ネットワーク

地域の皆様により良い医療を...

「連携医」とは、日頃より患者さんを紹介していただくだけでなく、当院からの患者さんを受け入れて対応していただける医院・診療所の先生です。

ゆやまクリニック

院長 湯山 令輔



医学博士、内科認定医、循環器専門医、臨床検査管理医

みなさまこんにちは、阪急洛西口駅前前で診療しております ゆやまクリニックの湯山と申します。これまで心臓疾患・高血圧・脂質異常など循環器疾患を中心に診療致しておりましたが、患者様の生活に寄り添いながら健やかに過ごしていただけるようお手伝いできれば思い2016年4月に開業いたしました。

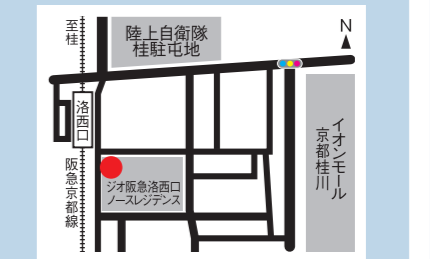
高度先進医療につきましては京都桂病院におまかせし、ちょっとした体調不良や健康に関する相談など、補完的な役割ができればと考えております。

当院では迅速血液検査として末梢血液一般検査(白血球数・貧血・血小板数)・CRP・HbA1c・血糖検査が行えるほか、尿検査・心電図・ホルター心電図・CABI(血管年齢・動脈硬化検査)・エコー検査(心臓・頸動脈等)・レントゲン検査・呼吸機能検査・睡眠時無呼吸検査が行えます。

医療に関するお悩みはもちろん、ご家族の健康相談や介護に関してわからないことがあれば何なりと御相談ください。

医院・診療所DATA

診療科目 循環器内科・内科



【所在地】向日市寺戸町七ノ坪100番地
【電話】075-925-8766
【休診日】木・土曜日午後、日曜日・祝日

Table with columns for day of the week and consultation hours (9:00-12:00, 14:00-16:00, 16:30-19:30).